

パパママ教室・両親学級等				
名称	あつまれ！たまごファミリー			
時期・回数	6回／年			
会場	子育て世代包括支援センター			
対象者	妊婦とその家族			
スタッフ職種	保育士、 保健師			
申込み方法	インターネット等で予約			
内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃんへのかかわり方」 ・妊婦体験 ・遊び場や相談場所などのお知らせ ・産前ヨガ（リフレッシュ） ・子育て支援室からの応援メッセージ ・交流会など 			
ハイリスク者向け事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）				
名称	多胎家族応援講座 “ツインブルファミリー”			
時期・回数	来館型 7回／年、オンライン 3回／年			
会場	子育て世代包括支援センター			
対象者	多胎妊婦と0歳～3歳（年少前）の多胎家族 ※オンラインは保護者のみの参加可			
スタッフ職種	助産師、保健師、保育士			
申込み方法	インターネット等で予約			
内容・特徴	多胎妊婦さんや多胎家族の交流、情報交換をします。			
マタニティサロン・広場等				
名称	産前ヨガ	産後ヨガ	タッチケア	子育てサロン
時期・回数	5回／年	6回／年	11回／年	2回／月
会場	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター
対象者	妊娠16週～36週未満の妊婦（主治医の許可が必要）	首がすわってから産後10か月のお子さんとその母	生後2か月～6か月のお子さんとその保護者	生後4か月～7か月のお子さんとその保護者
スタッフ職種	外部講師・保育士	外部講師・保育士	助産師・ 保育士	保育士
申込み方法	インターネット等で予約	インターネット等で予約	インターネット等で予約	インターネット等で予約
内容・特徴	妊娠中の運動不足を解消しながら心と体をリフレッシュします。	赤ちゃんと一緒にヨガを通して、産後のリフレッシュをします。	ベビーマッサージで赤ちゃんとのスキンシップを楽しみます。	月齢の近いお子さんのママ同士の交流・情報交換の場
産前産後サポート事業／産後ケア事業				
名称	産後ケア事業			
会場	小牧市と契約した医療機関等			
対象者	ショートステイ・デイケア：4か月未満の母子、アウトリーチ：12か月未満の母子の 市内に住居登録がある下記の全ての項目に当てはまる方 ① 母親が体調不良や育児不安があるもの ② 家族等から育児にかかる十分な援助が得られないもの ③ 感染症疾患に罹患していないもの			

	母に心身の不調があり、医療行為が必要でないもの(医師が対応可能であると判断したものは除く)			
スタッフ職種	助産師、医師等			
利用方法	子育て世代包括支援センターへご相談ください。(利用の3日前までに申請が必要)			
内容・特徴		ショートステイ(宿泊)	デイケア(日帰り)	アウトリーチ(訪問)
	利用時間	10時～翌16時 (食事付)	10時～16時 (昼食付)	9時～17時までのうち3時間程度
	内容	母親の休養、母親の身体的ケア・保健指導、授乳ケア(乳房ケアを含む)、 育児指導・相談		
	利用上限	あわせて7日まで		
	利用料	1割負担(生活保護・非課税者の場合減免あり) 1日あたり3,000円 1日あたり2,000円 1日あたり1,000円		
産前・産後ヘルパー				
名称	産前産後家事お手伝いサービス			
時期・回数	妊娠中から産後6か月(双子以上の場合は12か月)の間 1日1回・1時間以上4時間以内、上限時間40時間(双子以上の場合は50時間)			
場所	妊娠中から産後6か月(双子以上の場合は12か月)の間			
対象者	ヘルパー			
スタッフ職種	子育て世代包括支援センターにご相談ください。(利用日の7日前までに登録と申請が必要。)			
利用方法	・家事に関することのみへの援助。(買い物等移動にかかった交通費・ガソリン代は別途必要) ・利用料金は利用者世帯によって異なる。			
内容・特徴	産前産後家事お手伝いサービス			
養育支援訪問事業				
育児・家事援助			専門的相談支援	
対象者	妊娠中より支援が必要と考えられる母 産後育児支援が必要と考えられる母		妊娠中より支援が必要と考えられる母 産後育児支援が必要と考えられる母	
スタッフ職種	ヘルパー		助産師、保健師	
里帰り先への訪問	なし		他市在住の方が小牧市の実家に滞在している場合は訪問実施	
申込み方法	窓口		TELなど	
内容・特徴	必要に応じて継続的な支援につなげる。		必要に応じて継続的な支援につなげる。	
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	赤ちゃん訪問
対象者	妊娠中からの支援が必要と考えられる妊婦	生後4か月までの乳児を持ち訪問を希望する親子	退院後、届出から連絡し訪問を希望される親子	住民票のある生後1～3か月の児を持つ保護者
時期	妊娠中	生後4か月頃まで	生後4か月の頃まで	1～3か月の頃
家族からの申し込み方法	有	有	有	親子健康手帳交付の際に確認、周知
医療機関からの依頼方法	文書(場合によってはTELする)	文書(場合によってはTELする)	文書(場合によってはTELする)	なし(産婦へPRチラシを産院から配布)
スタッフ職種	保健師又は助産師	助産師	助産師	保健連絡員(ボランティア)

里帰り先への訪問	有	有	有	無（里帰り後）		
内容	妊娠や産後の育児に関する相談	助産師が家庭訪問し、身体計測、授乳方法確認、育児相談他	助産師が家庭訪問し、身体計測、授乳方法確認、育児相談他	保健連絡員が家庭訪問し、お祝い品をお渡しする。		
育児相談						
名称	育児相談	測定・相談	オンライン育児相談			
時期・回数	28回/年	1～2回/月	随時			
会場	市内7箇所の児童館	すくすくパオーンルーム（子育て支援室） （子育て世代包括支援センター内）				
対象者	乳幼児の親子		妊娠中から子育て中の方			
スタッフ職種	保健師・助産師		保健師・助産師・保育士・社会福祉士			
申込み方法	開催会場に要予約		メールにて要予約			
内容・特徴	乳幼児の身体計測、育児相談		Zoomを用いた個別相談			
3, 4か月児健診		他の乳幼児健診				
名称	4か月児健康診査	新生児聴覚検査 （補助券）	乳児健診 （補助券）	1歳6か月児健康診査	3歳児健康診査	2歳3か月児 歯科健康診査
方法	集団健診	個別検査	個別健診	集団健診	集団健診	集団健診
時期・回数	4か月頃 44回/年	生後4週（満28日）まで・1回	1歳1か月未満・2回	1歳6か月頃 36回/年	3歳頃 36回/年	2歳3か月頃 24回/年
会場	保健センター	医療機関	医療機関	保健センター	保健センター	保健センター
対象者	4か月児になる児とその保護者	新生児	乳児	1歳6か月児になる児とその保護者	3歳児になる児とその保護者	2歳3か月になる児とその保護者
スタッフ職種	医師、保健師、助産師、看護師他	医師	医師、看護師（栄養士）	医師、歯科医師、保健師、看護師、歯科衛生士他		歯科医師、歯科衛生士、保健師他
申込み方法	個別通知	出産した医療機関で実施。もしくは、医療機関に電話予約	医療機関に電話予約	個別通知		個別通知
周知方法	個別通知及び広報にて周知	親子健康手帳交付時に案内		個別通知及び広報にて周知		個別通知及び広報にて周知
内容・特徴	内科診察・身体計測・育児相談・母親歯科健診	A B R 又は A A B R ・ O A E 又は T E O A E	乳児発育・発達についての診察	内科診察・歯科診察・身体計測・フッ化物塗布・歯みがき指導・育児相談	内科診察・歯科診察・身体計測・フッ化物塗布・歯みがき指導・ 育児相談・屈折検査	歯科診察・ equal equal equal equal フッ化物塗布・歯みがき指導・育児相談等
離乳食教室・子育て教室等						

名称	初期・ごっくん教室	後期・かみかみ教室	にこにこむし歯予防教室	
方法	集団	集団	集団	
時期・回数	12回	12回	12回	
会場	保健センター	保健センター	子育て世代包括支援センター他	
対象者	4か月児以降の保護者	9か月児以降の親子	1歳前後の乳幼児とその保護者	
スタッフ職種	管理栄養士	管理栄養士・歯科衛生士	歯科衛生士	
申込み方法	インターネット等で予約	インターネット等で予約	インターネット等で予約	
内容・特徴	離乳食の進め方とポイント ★試食	むし歯予防と離乳食について のポイント	むし歯予防とお口を育てるポイント	
健診事後教室等				
名称	すくすく広場	なかよし教室	おひさまサロン	
方法	集団	集団	集団	
場所	保健センター	保健センター	保健センター	
対象者	4か月～1歳前後の子で、子ども のかかわり方を知りたい親や 子育てに不安を持つ親	1歳6か月を過ぎている子 で、かかわりづらさを感じて いる親や子どもとの付き合い 方を学びたい親	なかよし教室終了後、より具 体的な子どもとの付き合い 方、働きかけ方を学びたい親	
スタッフ職種	保健師・保育士	保健師・保育士	保健師・保育士	
利用方法	健診や育児相談等で支援が必要 だと感じられる親に紹介	健診や育児相談等で支援が必要 だと感じられる親に紹介	なかよし教室終了後、支援が 必要と感じられる親に紹介	
内容・特徴	家庭でできる簡単な親子遊びを 経験し、家庭でいかしてもらう	6回/クールで保護者は遊び を通して児の特徴を理解し対 応について一緒に学ぶ		
電話相談				
担当部署	保健センター	子育て世代包括支援センター		
名称	育児相談専用電話 「こまねっと」	相談専用電話	流産・死産等を経験さ れた方の相談窓口	こまき妊娠SOS
対象者	子どもを持つ保護者	子どもを持つ保護者	流産や死産を経験さ れた方	思いがけない妊娠や 望まない妊娠につい て悩んでいる方。
曜日・時間	平日午前8時30分 ～午後5時15分 その他の時間は※で 対応	年末年始をのぞく 平日午前9時30分～ 午後5時30分	平日午前9時 ～午後5時30分	平日午前9時30分～ 午後5時30分 ※メール相談でも対 応可能。
電話番号	(0568) 75-7288 ※(0568) 75-6471	(0568) 75-2005	(0568) 71-8611	(0568) 75-2005
スタッフ職種	保健師・栄養士・ 歯科衛生士	保健師・助産師・ 保育士	保健師・助産師	

コメントの追加 [森 里加1]: 「1歳前前後の乳幼児」
→ 「1歳前後の乳幼児とその保護者」に修正をお願いします。

内容・特徴	電話による育児相談	電話による相談
思春期保健に関する事業		
名称	小牧市作成「生と性のカリキュラム推進事業」 ① 小学校・中学校・高等学校への性教育 ② 安心相談カードの配布 自己肯定感DVD・動画配信	
時期・回数	① 各校の実情に合わせて実施 ② 年1回 一学期に配布 乳幼児健診時及び随時	
対象者	① 小学校2年生とその保護者、中学校3年生の生徒、高等学校生徒（各校と応相談で対応） ② 中学1年生と高校1年生の生徒 4か月の児を持つ保護者及び市民	
スタッフ職種	保健師・養護教諭・助産師、思春期保健相談士	
申込み方法	保健センターへ電話等で相談申込み	
内容・特徴	① 小学校へ出向き助産師等が性教育を実施 中学校・高等学校へ出向き保健師が性教育を実施 ② 中学1年生、高校1年生への安心相談カードの配布（相談機関紹介のカード配布） 4か月児健康診査、健康教育等にて自己肯定感についての健康教育・動画配信の周知	